

項目	定義
回答責任者	この欄は、申告内容の回答責任者を特定します。回答責任者は連絡先と異なる人でもかまいません。「同上」又は同様の表現は避けてください。
コバルト精製業者	コバルトの濃縮物、中間物、またはリサイクル材を加工し、川下製造プロセスで直接使用するためのコバルト生成物を製造する企業。
紛争地域および高リスク地域 (CAHRA)	OECDは「紛争地域および高リスク地域 (CAHRA)」を「武力による紛争、広範にわたる暴力、もしくは人々に危害が及ぶその他のリスクの有無によって特定される地域です。武力による紛争は様々な形をとることがあり、例えば、2カ国ないしそれ以上が関与することもあれば、解放戦争、反乱、内戦などによることもある、国際的もしくは非国際的対立などです。高リスク地域には、政情不安や抑圧、制度上の欠点、不安定などが見られる地域や、国内のインフラが崩壊した地域、さらに暴力が広範におよんでいる地域などがあります。これらの地域では広範におよぶ人権侵害や、国内法または国際法違反が見られます。」と定義しています。
申告範囲またはクラス	本テンプレートにおいて、「申告範囲」とは、報告企業が提供した情報の適用範囲を指します。申告範囲には、企業のサービスおよび／または製品全体を含むことが可能です。企業の判断で、特定の製品（または複数の製品）の報告に本テンプレートを使用することや、「ユーザー定義」を選択することもできます。「ユーザー定義」による申告範囲またはクラスを選択した場合、企業の業務または製品ポートフォリオの一部を申告することができます。
デューデリジェンス	OECD紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・デリジェンスガイダンス (OECDガイダンス) はデュー・デリジェンスを「企業が人権を尊重すること、ならびに紛争に手を貸さないことを確実にする、能動的かつ受動的で、継続的なプロセス」と定義している。更なる情報は http://www.responsiblemineralsinitiative.org/training-and-resources/conflict-affected-and-high-risk-areas/ を参照。
コンゴ民主共和国 (DRC) 及び周辺国	コンゴ民主共和国および国際的に認識されている国境に隣接する周辺9か国：アンゴラ、ブルンディ、中央アフリカ共和国、コンゴ共和国、ルワンダ、南スーダン、タンザニア、ウガンダとザンビア。
独立第三者監査法人	製錬業者監査について、「独立第三者監査会社」とは、製錬業者又は精錬所のデュー・デリジェンスシステムを基準に照らして評価する資格を持つ民間機関です。中立性および公平性を保つために、こうした組織と監査チームのメンバーは、被監査者と利害の衝突があってはならない。
意図的な付加	意図的な付加とは、通常、製品の特性、外観又は品質を保持するために、製品の製造において継続的に存在することが望まれる物質（この場合は金属）の計画的な使用として知られている。
経済協力開発機構 (OECD)	経済協力開発機構OECDは、責任あるサプライチェーンのためのOECDデュー・デリジェンスガイダンスを策定した。OECDデュー・デリジェンスガイダンスは、企業が人権を尊重し、鉱物の購入決定と慣行を通じて紛争への加担を避けるための詳細な勧告を提供している。このガイダンスは、紛争地域および高リスク地域から鉱物や金属を調達する可能性のあるすべての企業のためのものである。OECDガイダンスは、世界中のすべての鉱物サプライチェーンに適用される。(http://mneguidelines.oecd.org/mining.htm)
製品	企業の製品又は完成品とは、製造や生産の最終段階を終了し、流通又は顧客への販売が可能になっている材料や品目である。
精製業者	精製業者とは、再生利用品またはスクラップ資源を由来とする鉱石、スラグ、および／または原料を調達し、精製金属や金属含有中間物に加工する企業です。生産物には、純金属（99.5%超）、金属粉末、鋳塊、金属棒、金属粒、酸化物、炭酸塩などが含まれます。「製錬業者」および「精製業者」という語は、さまざまな出版物を通じて互換的に使用されます。
リサイクル及びスクラップ資源 Recycled and Scrap Sources	リサイクル又はスクラップ資源由来とは、リサイクルされた最終消費者製品又は使用済み製品、又は製品製造中に作り出されスクラップ加工されたコバルトのことである。リサイクルされたコバルトには、適切な精製又は加工がなされた、過剰分、廃品、不良品及びスクラップのコバルト素材がある。加工中か未加工コバルト又はその他の鉱石の副産物は、「リサイクル」の定義に含まれない。
Responsible Business Alliance (RBA)	2004年に設立されたResponsible Business Alliance (RBA) は、責任あるエレクトロニクスサプライチェーン専門の世界最大の産業連合です。(http://www.responsiblebusiness.org)
責任ある保証プロセス (RMAP)	責任ある鉱物保証プロセス (RMAP) とは、鉱物の責任ある調達の検証を強化するために、RBAとGeSIによって開発されたプログラムである。RMAPに関する詳しい情報は以下のサイトに掲載されている。 http://www.responsiblemineralsinitiative.org/responsible-minerals-assurance-process/ 。
Responsible Minerals Initiative (RMI)	RBAおよびGeSIのメンバーにより2008年に設立されたRMIは、サプライチェーンにおける紛争鉱物問題に取り組む企業が最も利用し尊重する組織のひとつに成長した。現在異なる7業界から150社以上の企業がRMIに参加し、RMAP、CMRT、合理的な原産国調査(RCOI)データおよび紛争鉱物調達に関するさまざまなガイダンス文書を含む幅広いツールおよびリソースを提供している。RMIは紛争鉱物問題の定期的なワークショップを実施し、政策展開に貢献し、主要な市民社会団体および政府とも協議を重ねている。詳細については以下を参照のこと。 http://www.responsiblemineralsinitiative.org/ 。
RMAP適合製錬業者リスト	責任ある鉱物保証プロセス (RMAP) 適合製錬業者リストとは、Responsible Minerals Initiative (RMI) のプログラムであるRMAP、またはこれに相当する業界プログラム（責任あるジュエリー協議会、ロンドン地金市場協会など）の認証を受け、既定に準拠していることが実証された製錬業者および精製業者の公表リストを指します。製錬業者または精製業者が本リスト上に存在しない場合、その業者はRMAP評価を完了していないか、RMAPプロトコルに準拠していません。 RMAPへの準拠が確認された製錬業者および精製業者のリストは、 www.responsiblemineralsinitiative.org で閲覧可能です。
製錬業者	製錬業者とは、再生利用品またはスクラップ資源を由来とする鉱石、スラグ、および／または原料を調達し、精製金属や金属含有中間物に加工する企業です。生産物には、純金属（99.5%超）、金属粉末、鋳塊、金属棒、金属粒、酸化物、炭酸塩などが含まれます。「製錬業者」および「精製業者」という語は、さまざまな出版物を通じて互換的に使用されます。
製錬業者識別番号	RMIは、サプライチェーンを構成する企業が製錬・精製業者として報告した企業に対し、固有の識別番号を割り当てる。これは、これらの企業がRMAP監査手順の定義する製錬・精製業者の特性を満たしているかと検証されているかどうかとは無関係である。